

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	<b>●研究の名称</b> フィブリン干渉を惹起しやすい内分泌検査項目の探索： 血液透析患者の血液検体を用いた研究
	<b>●研究の対象</b> 2024年4月～2029年3月の間に本学附属病院で血液透析を実施している患者様 20名
	<b>●研究の目的</b> 多くの方が病院で血液検査を受ける機会があると思います。この時、目に見えないフィブリンという物質が血液中に残ることで、検査結果に影響を及ぼすことがあります。具体的には、B型肝炎ウイルスの表面抗原（HBs 抗原）、C型肝炎ウイルスの抗体（HCV 抗体）が実際には感染していないのに陽性と誤って報告される可能性があります。また心筋梗塞を示すトロポニンIの値が実際よりも高く出るなど、実際には問題がないのに病気が疑われるケースがあります。特に血液透析を受けている患者さんは、透析中に血液を固まりにくくするための薬剤（ヘパリン）を使用するため、このような誤った検査結果（フィブリン干渉）を引き起こしやすい可能性があります。理論上は内分泌ホルモン検査においても、フィブリンによる干渉は生じうるのですが、これまでその実態は殆ど知られていませんでした。この研究では血液透析を受けている患者さんにおいて、フィブリン干渉により影響を受けやすい内分泌検査項目を特定することを目指しています。
	<b>●研究の期間</b> 研究機関の長による実施許可日から2029年3月まで。
<b>●利用又は提供を開始する予定日</b> この研究では外部へ試料・情報を提供しません。	

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報                  情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等                  試料：血液（血液検査後に不要となって廃棄予定のもの）</p>
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名                  浜松医科大学 大場健司</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学 医学教育推進センター 大場健司</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。                  また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>《問い合わせ先》</p>	<p>〒431-3192                  浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号                  浜松医科大学                  部署名： 内科学第二講座</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

担当者： 徳丸光彬

TEL： 0534352262

E-mail： D22019<at>hama-med.ac.jp  
※<at>を@に変換してください